

「玉川の由来」

旧須釜村から旧泉村に流れている玉川（その後、名称変更されて泉郷川）にちなんで命名されたもので、その意味には、相馬にある妙見神社がその昔、泉の庄玉川の辺に鎮座していたという古事があり、さらに、泉が須釜村と合併して川になると云う意味が含まれている、と合併当時の記録に示されている。

※妙見神社…両村境の玉川沿いの小高い森に鎮座する社。



東野の清流【うつくしまの音30景】

玉川村の地勢

玉川村は福島県の南部、石川郡の北西部に位置し、東西に11.3 km、南北に9.2 km、面積が46.56 km²です。本村東部は阿武隈山系の西斜面で、相対的に起伏の多い山間地帯であり、西部は阿武隈川沿いに展開する、比較的平坦な地形です。気象の特徴としては、阿武隈山系特有の起伏の多い地形のため、標高による気象条件の変化が大きく、気温の年較差や日較差も比較的大きいなど気象的制約が多い地域です。



玉川村民憲章 昭和60年11月制定

玉川村の住民としての誇りと責任を持ち、美しい自然と伝統ある郷土を愛し、さらに活力に満ちた魅力ある村づくりを進めるため、この憲章を制定し実施します。

1. 美しい自然と伝統を大切に、住みよい村をつくりましょう。
1. 教養と文化を高め、心豊かな村をつくりましょう。
1. 健康で楽しく働き、活力ある村をつくりましょう。
1. 思いやりと連帯の心を養い、明るい村をつくりましょう。
1. 広い視野と創意を持ち、飛躍する村をつくりましょう。



岩法寺地内のカタクリの花



乙字ヶ滝【日本の滝100選】



〈村のシンボル〉



村の花: 山 桜



村の木: 赤 松



村の鳥: 山 鳩

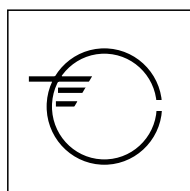


たまかわ文化体育館

玉川村役場
 〒 963-6392
 福島県石川郡玉川村大字小高字中畷 9
 TEL 0247 (57) 3101(代)
 FAX 0247 (57) 3952
<http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp>



たまかわ文化体育館の緞帳



玉川村章 (昭和49年制定)

玉川村の頭文字「た」を図案化したもので、村民の和と協力によって明るく豊かな村づくりに着実に進む玉川村を象徴している。

